

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
法学部	加藤哲実	法社会学 (コミュニティ論)	活動 学外委員				
				2012年～現在 府中市情報公開・個人情報審議会の委員・副会長			
法学部	阪井和男	経営学(情報組織論・組織イノベーション)、教育学(教育工学・学習分析)、心理学(数理心理学・認知心理学)、横断的分野(情報学・社会生態学・死生学・場のマネジメント・場の言語学)	活動	岩手県大船渡市	専門ゼミ、自由講座	2011年～ 毎年の夏祭り、ほぼ毎月の各種活動支援	明治大学とNTTPCコミュニケーションズ等の企業と立ち上げた「つむぎプロジェクト」に学生とともに参画し、ほぼ毎月の活動を大船渡市を中心に実施。イベント開催に陥らないよう、現地でニーズを探り現地とともに活動することを理念としている。
			活動	山形県山形市	明治大学サービス創新研究所のメンバーとともに山形市の東北芸術工科大学での共同研究員として参画。	2013年～ 東北芸術工科大学からの要請に応じて参加しつつ、次世代大学教育研究会や情報コミュニケーション学会等の活動を現地で展開。	小中高生の創造性開発のためのワークショップの企画・実施と能力開発の効果測定・分析・理論化等を行っています。本活動は、平成25年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「生きる力を育む芸術・デザイン思考による創造性開発拠点の形成」(S1311001)の助成を受けています。
			学外委員	2013年～ 共愛学園前橋国際大学グローバル人材育成推進協議会委員 2013年～ 東北芸術工科大学創造性開発研究センター共同研究員 2012年～ 特定非営利活動法人防災・市民メディア推進協議会理事 2012年～ 一般社団法人日本儀礼協会ネクストワールド・サミット審査委員長 2011年～ 特定非営利活動法人日本地域活性化力創出機構評議員 2010年 奈良県吉野郡黒滝村総務省ユビキタスタウン事業情報ステーション構築事業地域協議会委員 2009年 高知大学環境人材育成のための社会協働教育プログラムの開発におけるアドバイザー			
法学部	高橋岩和	経済法	学外委員	2007年～現在 神奈川県消費生活審議会会長 1998年～2000年 神奈川県消費者被害救済委員会委員 2001年～2006年 神奈川県消費者被害救済委員会委員長			
法学部	中村和恵	比較文学 英語圏文学 比較文化論	活動	北海道	個人調査	2012～2014年	アイヌ民族をはじめとする北海道内外の日本と関連の深い北方諸民族の文化、とくに物語とヴィジュアル・アートと観光産業の関連について、工芸家や語り部へのインタビュー、博物館や図書館の資料等の閲覧・複写等を行い、資料を集めている。アイヌ民族の各種催しや研究会にも参加している。長年にわたり国外で断続的に行ってきた世界各地の先住諸民族のケースをこれと比較し、折に触れ論考やコラムのかたちで発表し、著書執筆に向け準備している。
			学外委員				
法学部	小財陽平	日本文学(近世)	活動	広島県立歴史博物館	教員個人	不定期(依頼)	資料の調査、発表(講演)
			活動	大分県日田市咸宜園教育研究センター	教員個人	不定期(依頼)	講演
			学外委員				
商学部	山下洋史	経営工学・情報管理論・人的資源管理論・地域活性化論・統計的方法論・経営モデル論	活動	鳥取大学・鳥取市との連携	鳥取大学と明治大学の大学間連携に基づく鳥取大学での連携講座	過去4年間毎年実施している。	鳥取大学の大学院と学部の正規授業(オムニバス形式で年3コマ程度)および公開講座を実施しており、2014年度も継続することになっている。また、鳥取の地域活性化の研究を展開し、その成果を「鳥取一番学」として「これが商学部シリーズ第2巻―社会に飛び出す学生たち―」(同文館)に掲載した。
			学外委員	2014年度～ 墨田区男女共同参画推進委員会副会長 2008年度～2013年度 墨田区男女共同参画推進委員会会長			

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
商学部	鳥居高	東南アジア地域研究	活動	福島県相馬郡新地町	総合講座履修学生との活動	年間を通じて	①自治体ニーズの吸い上げとマッチング②学習支援③地元夏祭りの支援
			学外委員	東京YWCA	東日本大震災復興支援に関する共同事業	6月に開催する共同フォーラム	新地町を対象にした「風化を防ぐ」共同フォーラムの開催。
商学部	名越洋子	会計基準の設定と企業の反応	活動				
			学外委員	2014年7月1日～現在 相模原市下水道事業審議会委員・会長			
商学部	藤井秀登	交通・観光の社会経済学的研究	活動	群馬県邑楽郡大泉町	ゼミ	2011年～現在	1.年に1回開催される、サンパカルナバル運営企画提案、明大ブース運営、アンケート調査を町役場・観光協会と連携で実施。2.群馬県のキャラクター「ぐんまちゃん」の大泉町バージョンを4種類作成。2014年には明大コンビニ(駿河台・和泉・中野・生田店)でミニ・カップラーメンの表紙にそのイラストを印刷して、販売。他にストラップやキーホルダーも作成。3.2013年、2014年は池袋サンシャインシティで開催されたフェスタ・ドゥ・ブラジルのイベントにてゼミ生が役場・観光協会と連携して、明大ブースを運営。4.2012年に「めいじろう」の大泉町バージョンを作成。イベントで使用後、町役場・観光協会に寄贈。
			学外委員				
商学部	熊澤喜章	中小企業論	活動	神奈川県三浦市	商学部熊澤ゼミナールでの活動	年間を通しての営業で2014年度で9年間の営業実績	千代田区鍛冶町2丁目三浦市のアンテナショップ「なごみま鮮果」を運営
			学外委員				
商学部	西剛広	コーポレート・ガバナンスと企業戦略の研究	活動	東京都新宿区	商学部西ゼミナール所属学生6名(3年生)	2014年10月～2015年12月	商学部西演習室において、6名の学生がアパレルメーカーである(株)三陽商会(東証一部、本社住所:東京都新宿区本塩町14)と共同で商品の開発・販売に向けて活動をしている。
			学外委員				
商学部	李英美	韓日法制史	活動	東京都豊島区 東京都新宿区	商学部のJASSOプログラムにおけるフィールドワーク	2012年～ 毎年1月か2月に実施(2015年は11月22日～29日)	明治大学海外協定校の一つである韓国ソガン大学の学生8名と明治大学商学部生2名を引率し、池袋防災館における防災教育の基本コース(2時間)を体験した。また、東京消防庁消防防災資料センターの消防博物館も訪問し、2時間にわたる見学を行なった。近年韓国における高校修学旅行中の海上大事故をきっかけに、韓国人大学生の日本の防災システムと災害時における対応に関心が高まっていることから、それに応えるべく行なった研修である。
			学外委員				
政治経済学部	木谷光宏	地域産業と産業振興	活動	北海道北見市	教員個人で調査	不定期(社会連携機構の依頼で参加)	北見市役所、北見商工会議所、民間企業(北見ハッカ通商等)、スポーツ施設(常呂カーリングホール)におけるインタビュー調査と、北見工業大学との共同研究打合せ。
			学外委員				
政治経済学部	浅井澄子	情報産業の経済分析	活動				
			学外委員	2013.4～公正取引委員会競争政策研究センター客員研究員 2008.7～2010.6 多摩市情報公開・個人情報保護運営審議会委員 2001.11～2006.11 総務省紛争処理委員会特別委員 2000.6～2001.6 岐阜県市町村広域行政検討会委員			

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
文学部	安藤政雄	旧石器時代	活動	群馬県桐生市・みどり市	武井遺跡群調査団を組織し、団長として学生とともに参加	2010年から毎年実施	旧石器時代の巨大な石器製作址として著名な武井遺跡群の規模と成り立ちを調べる調査。
			学外委員	2001年～ 千葉県松戸市立博物館協議会委員 2010年～ 財団法人かながわ考古学財団評議委員 2012年～ 群馬県文化財保護審議会専門委員			
文学部	清水あつ子	英語学	活動	東京都立川市柴崎町	教員個人	随時	血液疾患などで骨髄移植を要する児童への資金援助。「淳産基金を育てる会」理事として広報活動・寄付の呼びかけ・ニューズレター発行。
			学外委員				
文学部	小野正弘	国語学	活動	埼玉県深谷市	市民講座の講師	2014～2015年	深谷市の市民が参加する講座で、日本語に関する講義を行なった。
				岩手県一関市	市立図書館での講演	2011年7月31日(日)	一関市が生んだ、辞書編纂者大槻文彦の国語辞書『言海』を顕彰するプロジェクトで、講師をつとめた。:講演会『『言海』、その創意と魅力—日本辞書史上の位置—』
			学外委員				
文学部	高野和子	教師教育 教育行政学	活動				
			学外委員	2006年～現在 東京都千代田区立一橋中学校学校運営連絡会委員			
文学部	神鷹徳治	漢文学	活動	東京都千代田区	教員個人		明治大学リバティアカデミーにて漢詩・漢文の講読(解説)
			学外委員				
文学部	寺田良一	環境社会学	活動	栃木県那須塩原市(学)アジア学院	3年生ゼミの実習先としてワークキャンプに参加	2012年～ 毎年8月に参加	途上国の農村リーダーに有機農学を教える研修施設の本学院で、研修生とともに有機農学の体験実習をし、途上国農村実情、南北問題、食糧自給等について考える。
			学外委員				
文学部	諸富祥彦	カウンセリング心理学、教育臨床心理学、人間性/トランスパーソナル心理学...、生徒指導、道徳教育、キャリア教育、学校カウンセリング	活動				
			学外委員	2013年～2015年 千葉県青少年問題対策審議会委員 2013年～2015年 練馬区いじめ対策委員会委員 副委員長 2011年～2015年 市川市立学校問題対策員 2008年～2010年 中央教育審議会専門部会委員(豊かな心を育む専門部会)			
文学部	大畑裕嗣	社会学(社会運動論、市民社会論、情報社会学)	活動	埼玉県川口市	ゼミナールでの活動	2010年～2014年	3年ゼミの実習活動の一環として「B級グルメフェスティバル」などまちづくりイベントへの協力、来場者・住民に対する調査
			学外委員				

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
文学部	佐々木憲一	古墳時代考古学・ 国家形成過程論	活動	奈良県明日香村・ 橿原市・長野市・茨 城県内の複数の自 治体	(奈良県明日香村および橿原 市文化財担当部局との連携) 授業「考古学実習」でフィー ルドワーク	2011年～	2年生を引率し、明日香村内、橿原市内の6～7世紀築造の、石舞台古墳・高松塚古墳など日本史の教科書 に取り上げられるような横穴式石室古墳を見学する。見学に際しては、本学OBで明日香村教育委員会文化 財担当主任技師の高橋浩二さんに案内を毎年お願いしている。
				長野県長野市、茨 城県内の複数の自 治体で古墳の調査 を実施している	私個人で調査するが、文学部 考古学専攻生がフィールド ワーク、出土遺物の整理(こ れは駿河台校舎で実施)に参 加する	長野市の古墳の調査 成果を報告書にまと める作業は2001年以 来継続的に駿河台校 舎で実施(フィールド ワークは1984～ 1996)。茨城県内の 古墳の調査も2001年 以来、夏休み、春休 み期間中に現地で実 施。	長野市:大室古墳群出土資料の整理、図化、報告書の執筆編集 茨城県内:小美玉市、石岡市、かすみがうら市、行方市内の古墳の測量調査、若干の発掘調査
			学外 委員	2003年～現在:長野市史跡大室古墳群保存整備委員会委員 2007年～現在:茨城県ひたちなか市虎塚古墳保存整備委員会委員 2003年～現在:奈良市所在の公益財団法人 寧楽美術館・依水園 評議員			
文学部	伊藤直樹	思春期・青年期を 対象とした学校に おける適応支援 のための実践お よび研究	活動	東京都千代田区	教員個人で実施するほか、支 援員を希望する学生を学校に 紹介している。	2007年～現在	発達支援アドバイザーとして、中学校において特別な教育的支援を必要とする生徒への支援を学校の先生、 保護者と相談しながら進めている。そのほかに、学校からの要請に応じて、支援員を希望する教職課程履修 学生を紹介し、学校現場で学生に対して、指導・助言を行っている。
				東京都世田谷区 NPO法人T&E企 画	教員個人。ゼミの学生を対象 に現場体験の機会を設けたこ ともある。	1989年～1994年 2000年～現在	思春期・青年期の精神障害をもった若者の社会復帰を支援するための作業所の開設及び運営にボランティ ア、非常勤職員等としてかかわってきた。現在は、NPO法人の理事として、運営にかかわっている。
			学外 委員	2008年4月～2009年3月 千代田区発達支援・特別支援教育推進協議会委員 2002年4月～2005年3月 埼玉県大里郡花園町家庭教育アドバイザー 2014年4月～ 千代田区立神田一橋中学校健全育成サポートチームメンバー			
文学部	平川景子	社会教育、学習 支援者の力量形 成	活動	神奈川県川崎市	授業の履修学生、自主参加 の学生、卒業した経験者、 TA、教員	2013～現在	登戸探求プロジェクトは、社会教育主事課程の授業として、大学生が川崎の小学4～6年生とともに活動する ものである。1年間、あるいは年度を超えた長期にわたる子どもたちの探求を、大学生が支えていく。学生に とっては、学習支援者としての力量形成を目指すアクティブ・ラーニングとなる。 2014年度は、おもちゃ班では、夏休みに子どもたちが作ったおもちゃをもって保育園や老人いこいの家を訪問 し一緒に遊んで、秋にはまた作り直したおもちゃをもって遊びに行くということをした。 また登戸研究所班では、陸軍の登戸研究所について子どもたちが取材・編集し、新聞やDVDを作った。 こうした活動を、学生が毎年ふりかえり、冊子にまとめている。保護者からは「インターネットで『調べる』の ではなく、実際に歩いたり、お話を聞いたりして『調べる』ことを学生が一緒にやってくれることがいいと思う」と いっていただいた。 社会教育主事課程年報(2014年度)に担当教員による3年間のふりかえりを掲載している。
							学外 委員

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
文学部	加藤尚子	臨床心理学, コミュニティ心理学, 子育て支援, 児童虐待の治療, 防止	活動	東京都	教員個人で参加	2006年から現在	東京都の児童福祉に関わる諸課題について審議, 提言。特に子育て支援, 児童虐待対応について専門的に審議している。
				東京都杉並区	教員個人で活動	2005年から現在	杉並区子育て支援課・子ども家庭支援センターの事業である「巡回型ケースカンファレンス」事業においてスーパーバイザーとして巡回相談を行っている。保育園, 学童保育, 小中学校などを訪問し, 地域の子育てに関する問題や児童虐待への対応について, 助言を行っている。
			学外委員	2006年～東京都児童福祉審議会 委員(現在に至る) 2009年～東京都福祉サービス評価推進機構 評価・研究委員会 委員(現在に至る) 認証保育所ワーキング委員(現在に至る) 2009年 葛飾区子育て支援行動計画策定委員会 委員			
文学部	野尻泰弘	近世日本の地域史研究	活動	東京都町田市	教員個人および有志の学生	2014年～	町田市立自由民権資料館において, 学芸員とともに町田市域の近世・近代史料(古文書)の整理にあたっている。
				福井県福井市	教員個人での参加	2014年～	福井県立歴史博物館において, 県内外の研究者・学芸員とともに, 近世・近代の史料(古文書)の整理にあたっている。
			学外委員				
文学部	山下達也	教育史	活動	長崎県長崎市	教員個人	2012～2013年	教員の養成・研修・採用に関する計画および取り組みの評価。
			学外委員	2012年2月～2014年3月 国立教育政策研究所 教育課程の編成に関する基礎的研究委員 2012年4月～2013年3月 教員の資質向上長崎県連絡協議会委員			
理工学部	宮腰哲雄	有機合成化学, 天然物化学, 材料化学, 漆の科学研究	活動	神奈川県川崎市, 福島県会津若松市	理工学部応用化学科宮腰研究室	6年間継続して活動している	漆と金属加工を組み合わせ, また漆による蒔絵技法による加飾で, 新しい生活用品を作る産・官・学の研究開発プロジェクト(末吉ネームプレート, 小野屋漆器店, 川崎市, 明治大学大学による漆の新規利用に関する研究開発プロジェクト)
				沖縄県浦添市 浦添市美術館との連携	明治大学「漆の研究クラスター」、特定課題研究ユニット「バイオ資源化学研究所」(代表 宮腰哲雄)、大型研究・戦略的研究基盤形成事業プロジェクトの連携による取り組み	6年間毎年「琉球の漆文化と科学」の講演会を浦添市美術館で開催している。内容: 琉球漆器の科学分析と評価	琉球漆器の科学分析と評価を研究課題にして, 沖縄県浦添市の浦添市美術館と連携して, 「琉球の漆文化と科学」の講演会を開催している。これは日本の漆文化とアジアの漆文化のつながりを考え, また歴史的な輸出漆器との関わりを究明する研究である。
			学外委員	2010年～ 漆サミット実行委員会会長			
理工学部	武野純一	自律移動ロボット	活動	神奈川県川崎市	教員の個人による講演会	2013年～2014年	(公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室, かわさき市民アカデミーでの川崎市民へのロボット研究の紹介
				東京都	研究室の展示としてゼミ学生による協力。	2001年～2014年	日本ロボット工業会が主催する, 国際ロボット展(隔年開催)に教員個人が実行委員, 実行委員長として参加した。展示会では研究室の研究内容を展示するブースをゼミ学生の参加の元に運営した。
			学外委員	国際ロボット展(日本ロボット工業会), 実行委員 国際ロボット展(日本ロボット工業会), 実行委員長			
理工学部	熊野照久	電力・エネルギーシステム	活動	神奈川県川崎市	教員個人	自治体の依頼で3年間	評価委員会に出席し, 川崎市の活動に対して意見提出
			学外委員	2013年 スマートシティ川崎有識者会議 2014年～ 川崎市再生可能エネルギー等導入推進基金事業評価委員会			

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
理工学部	山本俊哉	建築・都市計画、まちづくり、安全学	活動	岩手県陸前高田市	都市計画研究室として仮設住宅居住者意向調査、居住環境調査およびそれに係る提言、情報発信の各種支援	2011年から毎年8月に法政大学等との共同調査チームで大規模な調査を実施するとともに研究室として独自に調査を実施。	応急仮設住宅の居住の実態と意向を把握して、関係行政機関等に提言するため、約50カ所・約2000戸の仮設住宅を調査を定期的に行い、Webサイトやマスコミ等を通じて情報発信している。住民の高台移転の意向をとりまとめて住宅再建を図るため、現地の地形模型を作成・提供し、関連制度の学習会やワークショップにより復興まちづくりマスタープランやモデル住宅建設を進め、復興の先行事例として評価されている。
				千葉県市川市	都市計画研究室および子ども安全まちづくりパートナーズとして、JST「計画的な防犯まちづくりの支援システム構築」研究開発プロジェクトとして調査等各種支援	市川市からの依頼およびJST研究開発プロジェクト採択に伴い2008年から継続してまちづくりを支援している。	曾谷小学校区の市街地模型の作成、子ども参画の安全点検ワークショップ、アンケートの調査、それらの成果を掲載したWebサイト(http://soya.kodomo-anzen.org)を構築し、マイタウンマップコンクールの実行委員会奨励賞を受賞した。
				埼玉県秩父市	都市計画研究室および子ども安全まちづくりパートナーズとしてJST「国際基準の安全な学校・地域づくりに向けた協働活動促進」プロジェクトとして調査等各種支援	JST研究開発プロジェクト採択に伴い、2013年から継続的にまちづくりを支援している。	秩父市立花の木小学校・南小学校の児童の安全意識調査、秩父市立第二中学校区の安全点検ワークショップ、久那小学校区の土砂災害からの避難のための地図づくりワークショップ等を通してセーフコミュニティの国際認定取得の活動を支援している。
			その他神奈川県厚木市、静岡県下田市、高知県黒潮町などで活動。				
			学外委員	1994年～現在 市川市建築審査委員 2005年～現在 千葉市都市計画審議会委員 2013年～現在 千葉市資産経営推進委員会副委員長			
理工学部	土本晃久	有機化学	活動				
			学外委員	2012年～2014年 有機合成化学協会誌編集委員 2014年～ 日本化学会関東支部役員 2011・2013年 日本化学会春季年会プログラム編成委員 2014年～ 北陸先端科学技術大学院大学教育連携客員准教授			
理工学部	佐々木宏幸	都市計画 建築計画	活動	東京都渋谷区	分科会活動にゼミとして参加	2014年4月～	原宿神宮前地区まちづくり協議会の自転車対策分科会への助言・提案・ワークショップのファシリテーション等をゼミとして行っている。
			学外委員	2010年7月～2011年3月 兵庫県神戸市「港都 神戸」ランドデザイン検討委員会委員 2010年5月～2011年3月 兵庫県建設事業外部評価委員会委員 2010年2月～2010年3月 兵庫県神戸市案内サインデザイン検討会アドバイザー 2010年1月～2012年3月 兵庫県神戸市都市景観審議会委員			
理工学部	小野弓絵	医用システム	活動	神奈川県横浜市	ゼミとして参加	2012年～現在	アダプテッドエアロビック競技者とその指導者に対して、競技レッスン中の生理機能計測を行い、競技者と指導者の円滑なコミュニケーション、適切なコーチング法についての生理学的検討を行っている。
				神奈川県川崎市	教員個人で実施	2014～2015年	平成27年度第3回 明治大学・川崎地区産学交流会 技術セミナー 講師 主催 川崎市工業団体連合会、明治大学研究活用知財本部 後援 川崎市、川崎市産業振興財団、川崎商工会議所、明治大学校友会
			学外委員	全国アダプテッドエアロビック協議会 医科学委員会 委員(2013年～)			
理工学部	安井幸夫	物理学・固体物性 物理学	活動	神奈川県川崎市	明治大学の生田ボランティアセンターで、教員企画によるボランティア活動	2013年～現在に至る	明治大学の生田ボランティアセンターにおいて、教員企画としてボランティア学生を募集し、川崎市青少年科学館主催の科学教室や川崎市主催の科学教室に、学生を引率する。学生は参加する子供達に科学教室を行う。
			学外委員				

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務局

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
理工学部	室田明彦	天然物を用いる機能性物質の探索	活動	モンゴル国	モンゴル科学技術大学との共同研究契約による参加(個人)	2006年から現在まで	参加地域:モンゴルウランバートル市およびトブ県 連携先:モンゴル科学技術大学、モンゴル国立第一病院、和洋女子大学 活動内容:事業名、学校給食調理担当者の人材育成と食育による健全な学童の育成を目標とするエネルギーと栄養価を考えた給食メニューの普及 プロジェクトの目標:本事業では、学校給食に理想的なモデルメニューが取り入れ、栄養教育を通しての「食育」への理解が深まることで、学童の健全な育成を目的とする。
				地域:ウランバートル市およびトブ県、連携先:モンゴル科学技術大学	教員個人	2006年から現在まで 継続中	2006年から今日までの活動は、現地でヨード欠乏症撲滅プロジェクトや、学校給食改善のための理想的メニューの立案とウランバートル市内とトブ県での給食試食会、栄養教室、現地関係者、政府関係者との懇談会の開催等である。
			学外委員	平成18年度～平成22年度:水産庁委託事業「水産バイオマスの資源化技術開発事業」課題名、海藻バイオマスからの工学的手法によるオリゴ糖等生産技術の開発の担当			
理工学部	鈴木義文	化学工学、吸着、水処理	活動	神奈川県川崎市、神奈川県立向ヶ丘工業高等学校	教員個人		主に高校への提言、高校生のインターンシップへの協力
			学外委員	1998年～2003年 川崎市 地域ものづくり協議会委員 技術・技能継承研究会委員 2000年～2009年 神奈川県教育委員会 学校評議委員(神奈川県立向の岡工業高等学校担当) 2010年～2014年 神奈川県立向の岡工業高等学校校長 学校評議委員 2010年～2014年 神奈川県立向の岡工業高等学校校長 ものづくり人材協議会委員			
理工学部	松岡太一	ダンピング、ダンパ、制振、免震、耐震、波力発電、鉄道	活動	神奈川県	教員有志およびゼミ生有志	2014年～	神奈川県政策局政策部 科学技術・大学連携課と連携して募集を行い、県が主宰する「サイエンスサマー」の一環として県のホームページに情報を掲載、パンフレットを配るなど広報を行った。
			学外委員	文部科学省 科学技術政策研究所科学技術動向研究センター専門調査員 高圧ガス保安協会 石油精製業保安対策事業 高圧ガス施設の耐震補強評価に係る調査研究検討委員会委員 人事院 国家公務員採用総合職試験 試験専門委員 公益財団法人 日本人事試験研究センター 試験委員 2012年～ 日本機械学会ダンピング研究会幹事 2013年～ アメリカ機械学会圧力容器配管部門専門委員			
理工学部	小池裕也	分析化学、放射化学、放射線安全	活動	北海道札幌市	研究室の一部学生と企画及び実施	2013年～ 毎年実施	放射線教育授業から始まり、身の回りの化学をテーマに中学生を対象とした化学実験を含む出前授業を企画展開している。(参考:放射線教育支援サイトらでいhttp://www.radi-edu.jp/)
			学外委員				
理工学部	本多貴之	文化財科学、有機化学、高分子化学、高分子・繊維材料	活動	沖縄県浦添市浦添市美術館との連携	研究室の研究グループ単位	2011年度～	試料の収集やサンプリング、実地調査およびそれに基づく『琉球の漆文化と科学』での講演会の実施
			学外委員	2013年度～ 高分子分析研究懇談会 運営委員			
理工学部	石田祥子	設計工学	活動	東京都三鷹市	教員個人	2014年～現在	子供から大人まで親しめる折紙の科学の体験講座 サイエンスカフェ、市民講座等において、折紙の科学について講演、講師を務めた。 小学生を対象とした科学フェスティバルにおいて、折紙を通して幾何学に親しむ体験講座を担当した。
			学外委員				

2014年度地域連携活動等調査

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
理工学部	長岡亮介	数学史、数理哲学、数学教育	活動	福島県福島市			福島県の数学教育の質を向上させる福島高校を中心とするプロジェクト
			学外委員				
農学部	輿水肇	都市緑化・都市緑地の保全と創出への計画課題、と技術課題	活動	千葉県 浦安市	教員個人で調査		市の緑の実態調査
			学外委員	2008年～ 東京都環境影響評価審議会委員 2001年～ 新宿区緑推進審議会委員 2001年～ 鎌倉市緑政策審議会委員			
農学部	瀬藤雄三	獣疫学、生物統計学、動物繁殖学	活動	群馬県前橋市	個人・ゼミ所属の大学院生も現場教育と社会貢献活動の一環として参加している。	2000年～ 年2回程度	研究会を開催している。参加農家の財務成績を集計し、参加者全員で、経営力をあげるにはどうすればいいか議論をしている。また、各界から講師を招聘し講演会も実施している。
				群馬県渋川市	ゼミ所属の大学院生のグローバル活動兼社会への貢献活動の一貫として参加。	2011年～ 4年間で5回実施。	群馬県に本社のあるグローバルピッグファーム社と国際養豚セミナーと生産現場指導を共催し、社会貢献活動を行なっている。海外の専門家を招聘し、国際セミナーを開催かつ養豚の生産現場に行き指導したり、生産現場の獣医師との座談会を行なっている。
				千葉県旭市 高橋ファーム	ゼミとして、毎年農場研究を行なっている。日本の生産現場を知るという目的で、学部生・院生の全員で参加。	2010年から4年間毎年実施。	農場に飼養されている母豚の行動の観察研究を行なっている。
				群馬県渋川市小池養豚	学部生・院生全員	2000年～2010年	日本の生産現場を知る目的で、毎年農場に飼養されている母豚の行動観察研究
				神奈川県海老名市 神奈川県畜産技術センター	ゼミとして共同研究	2014年～	畜産技術センターの豚社を環境温度を設定し、横浜気象台の戸外温度と関連を調査している。
			学外委員	2014年～現在 豚のアニマルウェルフェアに関する検討委員会 2004年～2009年 養豚問題懇談会 2002年～2003年 家畜共済における豚の雌不妊症の診療指針作成委員会			
農学部	澁谷直人	植物免疫、糖鎖生物学	活動				
			学外委員	2004年～現在 神奈川県科学技術会議研究推進委員会委員 2008年～現在 神奈川県試験研究機関・機関評価委員会およびフォローアップ委員会委員 2011年 神奈川県農業技術センター 農林水産技術会議委員			

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
農学部	倉本宣	緑地学	活動	東京都湾岸部	生田ボランティアセンターのプロジェクト「生きもののいる公園に行こう」、卒業研究とその指導、研究室の野外ゼミ、学内外の学生有志による野外調査、教員個人による関係者からのヒヤリング、学会での委員会によるシンポジウム	準備期間2000～2013、 本格実施期間2014～	主な連携先は東京港野鳥公園と葛西臨海公園であり、両者は都立公園である。2000年に卒業生が東京港野鳥公園のレンジャーとなり、ゼミの学生に対して環境管理の実習を行って、研究室からバットディテクターを貸して自然教室を行った。その後も、自然観察の場として利用した。2014年に葛西臨海公園鳥類園で猛禽類の卒業研究を実施することになり、教員は緩傾斜護岸のウラギクの研究を開始した。同年、東京港野鳥公園の第3者評価を依頼され、繰り返し公園に行き、関係者からのヒヤリングを行い、生田ボランティアセンターのプロジェクト「生きもののいる公園に行こう」を2回実施して学生の目で見た改善点を管理者に示した。3月6日にウラギクの研究成果を管理者に報告し、その後、園内への掲示を依頼した。東京都の海上公園のあり方について上記のプロジェクトやヒヤリングの結果に基づき、研究室の学生といっしょに整理して管理者に提言した。
				多摩川	教員個人と客員研究員、研究室全体	1990年～	カワラノギクプロジェクトとして、年間に数回、絶滅危惧植物カワラノギクの保全活動を行っている。保全活動の内容は、植生管理とモニタリング(個体数の計数)である。
				神奈川県川崎市麻生区黒川	研究室、生田ボランティアセンター	2005年～	農家との協働による、生きもののいる水田づくり。写真展と、農家を招いての収穫祭の実施。黒川農場自然生態園の自然解説(解説サインの設置)
			学外委員	東京都港湾局、港湾審議委員 目黒区・みどり公園課、生物多様性地域戦略策定委員会副会長 川崎市・生田緑地整備事務所、生田緑地マネジメント会議運営委員・自然環境保全管理会会長 茅ヶ崎市景観みどり課、みどり審議会委員 厚木市・公園緑地課、健康子どもの森ワーキングリーダー 川崎市・文化財課、文化財審議委員 越谷市、コシガヤホシクサ野生復帰検討委員			
農学部	登尾浩助	土壌中と接地気層中のエネルギーと物質移動の測定とモデリング	活動	福島県相馬郡飯舘村	学外と学内の研究グループ	2011年～現在	1. 除染後土壌の肥沃度回復に関する現地調査 2. 冬季土壌凍結時期の調査 3. 放射能汚染土壌の放射線量測定器の開発
				神奈川県農業技術センター	研究室	2006年～2012年	熱水土壌消毒時の土壌中の水分と熱移動および温室効果ガスの発生と移動に関する調査
			学外委員				
農学部	池上彰英	農業経済学	活動	岩手県遠野市	研究室所属の3年生全員	2011年～毎年	3泊4日の日程で、遠野市綾織町第1区(新里地区)において、3年生のフィールド調査実習を実施。地区の公民館に宿泊。新里営農組合における座談会、組合員農家における農作業体験、地区住民との交流会、地区の活動(地区を貫通する国道両側への花の植栽)への参加、近隣農村調査等。
農学部	松下浩幸	日本近代文学	活動	東京都杉並区教育委員会	教員個人	2006年より年1回実施	リバティアカデミーと杉並区教育委員会の共催による社会人講座を「和泉近代文学講座」として実施
			学外委員	夏目漱石・記念年実行委員			

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
農学部	菅野博貢	都市計画 建築計画 園芸 造園学	活動	川崎市多摩区	ゼミとして多摩区より委託事業として受けている	2004年～現在	2004年のはじめに向ヶ丘遊園駅南口から100mほど南に行ったところの小空間を活用できないかという相談を受け、そこに「生田エントランススポット」という向ヶ丘遊園駅と生田緑地をつなぐ地点に情報を発信する小広場を設計することになりました。基本計画からはじめて、住人説明会を何度か実施し、2005年末から施工工事を学生たちと行い、小広場を完成させました。その後、植物やベンチ等の管理を継続的に行っていきます。
				神楽坂の「粋なまちづくり」委員会、 広島県三次市のまちづくり	ゼミとして参加	2002年～2004年 2009年～2010年	住人の方とのまちづくりの議論
				川崎市麻生区	ゼミ生の卒業研究として参加	2011年～2012年	廃れ行く伝統文化を景観とともに保全する方法について調査、研究を行った。
			学外委員	「磨けば光る多摩事業」審査委員 「川崎市花と緑のコンクール」審査委員			
農学部	池田敬	省力・省エネルギーを目指した都市近郊型農業システムの開発・確立、都市近郊地域向け完全人工光型植物工場の農商工連携によるモデル研究、環境ストレスが植物の生理生態に及ぼす影響に関する研究	活動	群馬県嬬恋村	ゼミ合宿の実施、教員個人で調査	2007年から現在に至る	ゼミ合宿、現地農家訪問、現地NPO法人会議出席など
			学外委員	2011～2013年 嬬恋村景観策定委員会副委員長			

2014年度地域連携活動等調査

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
農学部	元木悟	野菜の生産現場を意識した安定生産技術の確立を中心に研究を進めています	活動	岩手県大槌町および北上市、秋田県横手市、神奈川県川崎市、兵庫県神戸市、島根県三郷町、広島県庄原市、大分県玖珠町	研究室として講習会および研修会の実施、学生および教員で調査、研究機関や生産現場との打ち合わせ、など	2013年～2018年	「ソバージュ栽培」を学生および教員が紹介(以下、活動の一部抜粋) 2014年5月 明治大学リバティアカデミー(明治大学地域産学連携センター) 2014年8月 産官学連携新世代ファーマー育成講座(明治大学生田キャンパス) 2014年8月 他産地の情報と今後の方向性: 食料生産地域再生のための先端技術展開事業「第3回 新技術現地 公開セミナー」(岩手県内) 2014年8月 島根県邑智郡美郷町 ソバージュトマト栽培研修会(島根県邑智郡美郷町) 2014年9月 「ソバージュ栽培と特産化の可能性についてのセミナー」(大分県玖珠郡玖珠町)
				群馬県沼田市、静岡県磐田市、千葉県君津市、長野県坂城町、など	研究室として講習会に参加(講師)、学生および教員で調査、研究機関や生産現場との打ち合わせ、など	2013年～	2014年3月、4月、6月、8月、11月 アスパラガス生産現場において、定植から調査を共同研究者と実施してきた(群馬県沼田市、静岡県磐田市の現地実証圃場) 2014年11月～2015年3月 アスパラガスの収量調査を行った(長野県坂城町) 2015年2月、3月 アスパラガスの定植を行った(千葉県君津市)
				神奈川県川崎市	研究室として講習会に参加(講師)、学生および教員で調査、研究機関や生産現場との打ち合わせ、など	2013年～	地域在来野菜(のらぼう菜および万福寺ニンジン)について、川崎市農業振興センター(川崎市農業技術支援センター)および神奈川県農業技術センターと共同で、栽培から品質評価、鮮度保持、マーケティングに取り組んでいる。
			長野県小諸市、東御市および上田市(オタネニンジン生産者) 静岡県磐田市(赤ビート生産者)				
			学外委員	2014年～2015年 農林水産省 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 外部アドバイザー 2013年 神奈川県 平成25年度農林水産技術会議研究成果評価部会 評価委員 2013年～2014年 農林水産省 平成25年度「緑と水の環境技術革命プロジェクト事業」(事業化調査事業)実用化調査研究委員会 委員 2009年～2012年 農林水産省 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業 外部評価委員			
農学部	本所靖博	研究分野: 会計学・農業経済学, 研究テーマ1: 大学・大学生の地域連携活動による地域活性化と地域貢献, 研究テーマ2: 教養としての簿記の研究	活動	青森県西目屋村	ゼミ単位で村の行事に参加, 農業インターンシップの企画・運営, 教員個人での調査	2012年～継続中	2012年10月 マネジメント部会に参加 2012年11月 次年度の農業インターン企画のための実地調査 2013年 2月 次年度の地域づくりインターン企画のために乳穂ヶ滝水祭りに村民と協働参画。村の教育委員会と協働して明治塾の開催。 2013年 3月 マネジメント部会に参加 2013年 5月 農業インターン生を学部内で募集 2013年 6月 全国定住政策のデスクリサーチ報告会 2013年 8月 農業インターン1回目実施, 村民ヒアリング調査実施 2013年 9月 農業インターン2回目実施, 村民ヒアリング調査実施 2014年 3月 マネジメント部会参加 6月 地域担い手育成事業(農業インターン)の打ち合わせ(教員・学生3名参加) 7月 地域担い手育成事業(コネクションハウス)の打ち合わせ(学生4名参加) 8月 農業インターンシップ実施(教員1名・学生9名参加) 10月末～11月 社会人向け農業インターン実験事業(社会人・学生約20名参加) 2月 地域担い手育成事業: 今年度総括と次年度事業の戦略会議(学生22名参加) 3月 地域担い手事業: マネジメント部会参加(教員・学生3名参加)
				神奈川県川崎市麻生区、麻生区・かわさきかえるPJ・黒川農場との連携	ゼミ単位	2014年～現在継続中	(菜の花PJ) 麻生区内の遊休農地を活用して、菜の花を栽培して、菜種を採取して菜種油に精製して、それを活用して麻生区産の地場野菜を使ったスイーツ作りを行った。
			学外委員	2010年～ 川崎市民間活用推進委員会委員 2012年～ かながわ商店街大賞審査委員 2012年～ 西目屋村担い手育成総合支援協議会マネジメント部会連携キーパーソン			
農学部	岡通太郎	地域研究 農業経済学	活動	山形県長井市	ゼミの農村調査実習	2008年～2014年	学生が4人ひと組でグループを作り、毎年3～4組が現地に1週間に滞在し、調査する。最終日に調査結果を、レインボープラン推進協議会、長井市役所、地元関係者の方々へ発表する。すでにくいつかの提案が実際に採用、あるいは原案として採用されている。
			学外委員				

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
農学部	服部俊宏	農村計画学	活動	福島県飯館村(福島市内仮設住宅)	研究室での調査・交流、ボランティアセンターで交流	2012年度から毎年	避難者の発災前生活記録、帰村・営農再開条件の解析を調査すると共に、仮設住宅としての帰村計画策定を支援。また、学生と仮設住宅入居者間の交流(お年寄りから昔からの手仕事の技を教えていただく)を実施。福島県事業「大学生の力を活用した集落復興支援事業」受託。
				青森県上北郡横浜町 NPO法人菜の花トラストin横浜町	教員個人の調査・助言指導、研究室で調査	明治大学着任(2010年度)以前より継続	菜の花景観保全のための地域住民の活動に対し、研究対象として調査に入ると共に、活動に関する助言指導を実施。2010～2012年度にはゼミ合宿としてNPOの活動を体験。青森県事業「あおり共助社会づくり推進事業」で、6次産業化支援。
				山口県周南市須金地区	研究室での調査	2014年度より	山口県事業「企業・大学等中山間地域づくり支援事業」により、周南市須金地区への移住者増加のための調査・計画・提案を実施。
				青森県三沢市 北三沢地区環境公共推進協議会、北三沢コミュニティ活性化協議会 岩手県陸前高田市 サンファーム小友 岩手県陸前高田市 広田半島営農組合 福島県相馬郡飯館村農業者・松川第一仮設住宅自治会 富山県中新川郡立山町			
			学外委員	2010年～ 北三沢地区環境公共推進協議会 2010年～ 北三沢地区コミュニティ活性化推進協議会			
農学部	伊藤善一	施設園芸学	活動	神奈川県川崎市麻生区	教員個人		麻生区との連携により、麻生区の子供への食育・栽培について教える
			学外委員				
農学部	出崎能丈	植物生命科学	活動	神奈川県川崎市	教員個人としての参加	2014年度	明治大学農学部・理工学部の教員がオムニバス形式で生田高校で希望する高校生を対象とした講義を実施。その1回を担当した。
			学外委員				
農学部	根本正之	植物生態学、雑草学	活動	東京都荒川区南千住(荒川区立汐入小学校、石浜神社)	教員個人(荒川区議からの依頼による)	2011年～ 継続実施(詳細は「雑草社会がつくる日本らしい自然」築地書館、「生物多様性と日本らしい自然」岩波ジュニア新書参照)	土手のセイタカアワダチソウなどの外来植物を抜き取って、そこにカワラナデシコなど子どもたちの育てた日本の在来植物を植え付け、日本らしい自然(昭和30年代以前の自然)を復元する。※復元生態学は農学部で秋期に開講。試験研究は東大院で行なっている。
			学外委員				
経営学部	佐々木聡	企業家史、経営史	活動	北海道函館市			函館市経済部の協力で経営者への聴き取り調査を実施し映像記録史料として、道史、市史、学術的利用供するための取り組みを行なっている。
				青森県青森市			青森銀行のシンクタンクとシンポジウムその他協同の取り組みを実施、立案している。
			学外委員				

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
経営学部	岡田浩一	中小企業問題の理論と実証研究	活動	東京都世田谷区	教員個人	2013年度～2014年度	世田谷区「明大前街づくり学校」(明大前駅再開発に伴う区民と区の協働によるゼミナール)に担当講師として協力。
			学外委員	2014年～ 経済産業省「攻めのIT投資評価指標策定委員会」委員 2014年～ 経済産業省「IT活用企業選定委員会(中小企業部門)」委員長 2014年～ 中央区商店街振興連絡調整会議 座長 2012年～ 千代田区商工振興連絡調整協議委員会 委員長 2010年～2012年 千代田区商工振興基本計画検討委員会 委員長 2007年～2014年 経済産業省中小企業IT経営力大賞 選考作業部会長			
経営学部	小関隆志	先進国におけるマイクロファイナンスの可能性	活動	東京都内	ゼミナールでの調査活動	2014年度	ゼミ内でグループ単位の調査活動を行い、報告書をまとめた。(企業社会貢献やNPO関連を中心に)
			学外委員	2007年～ 全国NPOバンク連絡会理事として活動に参加。			
情報コミュニケーション学部	中村義幸	公法学、人権政策学	活動				
			学外委員	1998年7月～1999年3月 新潟県北魚沼郡堀之内町行政改革委員会会長 2001年9月～2002年12月 新潟県北魚沼郡合併ビジョン策定検討委員会副委員長 2014年5月～2014年9月 新潟県魚沼市まちづくり基本条例検討委員会委員			
情報コミュニケーション学部	山口生史	組織コミュニケーション、マイクロ組織論	活動				
			学外委員	2009年～2010年12月 所沢市市民活動支援センター開設検討委員会委員長 2013年6月～2014年6月 所沢市PTA連合会副会長 2013年5月～2014年5月 松井小学校PTA会長			
情報コミュニケーション学部	鈴木健	説得コミュニケーション論	活動	東京都教育庁	都立高校生言葉の祭典(決勝) 例年10月		①弁論・スピーチ(日本語の部・英語の部) 審査員 ②討論・ディベート(日本語の部・英語の部) 審査員(2013年は審査委員、2014年は審査委員長)
			学外委員	1998年～2006年 茨城県藤代町情報公開審査委員 2003年～2012年(2006年度は除く) (財)大阪府市町村振興協会 マッセOSAKA「ディベート研修」講師 2007年～現在 茨城県取手市情報公開審査委員			

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
情報コミュニケーション学部	川島高峰	政治学、近代民衆思想史	活動	福島県新地町	ゼミナールでの活動	2013年～広報の支援活動を実施している。大学祭でシンポジウム実施。震災支援センターの各種イベントに参加。	3年目の被災地 海と歩む新知町(2014作品) http://www.youtube.com/watch?v=J39K3EcNzE0 福島 ふるさとCM新地町(2014作品) http://www.youtube.com/watch?v=oi-kZGmXPVU 福島テレビ放映 知られざる被災地 福島新地町(2013) http://www.youtube.com/watch?v=aj9AR01fSAo 海と生きる被災地(2012) http://www.youtube.com/watch?v=TC5u1NbKB60
				長野県大鹿村	ゼミナールでの活動	2014年度実施 村役場、教育委員会の方の協力で実施。村の広報支援活動実施。大学祭でシンポジウム実施。	大鹿村の生活と大鹿歌舞伎の紹介映像の作成、並びに英語版の作成。英語版は4月公開予定。大学祭でシンポジウム実施。心傾(かぶ)く村 長野県大鹿村(2014) http://www.youtube.com/watch?v=GNHMLmjCGbg
				新潟県南魚沼市	自身が主管するGP、3大学連携国際協力人材育成プログラム並びに、顧問を務める公認団体MIFO	2012年～毎年実施 南魚沼市の依頼並びに、同市の国際大学で行なっている連携機構ICLOVEとの連携による	南魚沼市の田んぼで国際大学の大学院生と明治大学の学生が交流をしながら英語で田植えと稲刈りを実施し、文化紹介等の交流合宿を実施した。
				青森県西目屋村	ゼミナールでの活動	2012年～2013年	担い手育成事業の運営委員をしている。広報支援活動で村のPR活動を実施。CMを作成、青森で放映された。 カモン！にしめや 村PR映像 https://www.youtube.com/watch?v=0hCw0vQ9e3Q 戦い続ける過疎の村 独立の道を選んで(2012) https://www.youtube.com/watch?v=sWvhbPT8Cz8 8期生 西目屋村 青森朝日放送ふるさとCM作品 http://www.youtube.com/watch?v=BWCLnBXgdKc
			学外委員	西目屋村地域経営担い手育成マネジメント部会委員(2012～)			
情報コミュニケーション学部	波照間永子	舞踊学	活動	千代田区神保町周辺	ゼミナール単位(3～4年合同フィールドワーク)	神田すずらん祭り(5月末)、西神田児童センター・千代田区高齢者センター(秋～冬)	①神田すずらん祭り:会場設営アシスト・ステージパフォーマンス企画出演 ②西神田児童センターや千代田区高齢者センターの諸行事運営補佐 ③世代間交流企画の立案・実施
			学外委員				
情報コミュニケーション学部	南後由和	社会学、都市・建築論	活動	東京都中野区	学部の授業	2013年～2014年	「中野区×スポーツ×観光」をテーマに、中野区が抱える問題と可能性を発掘し、インフォグラフィックスを用いて可視化したうえで、中野区の新しい都市ビジョンを提案した。具体的には理工学研究科建築学専攻とも共働し、中野区に関する白書・統計データの分析、中野区役所や地域団体などへのヒアリング、街路や建築物のフィールドワークなどを行った。本講義では、中野区役所の方々に中野区のまちづくりの歴史と現在に関する授業をしていただき、講評会には中野区長と区役所の方々にもご参加いただいた。
			学外委員				

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
国際日本学部	渡浩一	日本文化史	活動	奈良県大和郡山市・五條市・河合町	教員個人で調査(人文研個人研究、特定個人研究)	2012年度・2013年度 人文研個人研究。 2014年度特定個人。 大和郡山市矢田寺の 矢田地蔵の信仰・縁 起説話の研究は35年 くらい前から継続して いる。	「欲参り」関係および五條市笠辻地蔵の縁起伝説関係の文献・絵画資料の博捜・調査(寺院・図書館・博物館等) 成果は人文研究紀要および『絵解きと伝承』(仮題・至文堂出版)に発表および発表予定。
				長野県須坂市・飯田市	教員個人で調査(特定個人研究)	2013年度9月(須坂市)・3月(飯田市)に調査を実施	地元で伝わる「孝子善之丞感得絵伝」の調査(同種の絵伝に関する人文研紀要に発表した拙稿が機縁となって須坂市の市史編纂室より調査依頼があり、また、それが機縁となって飯田市の同種の絵伝も地元の博物館学芸員の協力で調査できることになった)。
			学外委員				
国際日本学部	横田雅弘	異文化間教育としてのまちづくり、留学生政策、偏見低減の実践教育	活動	東京都中野区	ゼミ活動としての参加ならびに授業「まちづくり教育論」としての参加	2013年～2014年	ゼミ活動関連の連携：ヒューマンライブラリーの開催に関する広報と資金調達での連携。まちめぐり博覧会への参加。アンテナストリートへの参加。にぎわいフェスタへの参加。 授業「まちづくり教育論」での連携：観光協会との連携による中野マップの制作。 教員の個人的な参加：中野区認定観光資源選定会議への参加。中野区グローバル戦略推進協議会設立フォーラムコーディネーター。
				東京都国立市	NPOの理事としての参加、一橋大学の授業「まちづくり」担当教員としての参加、個人としての参加	1988年～2008年	国立市とは、1988年に国立公民館と協力して地域の外国人支援の任意団体を設立し、その会長となって以来長年の連携あり。特に、一橋大学在籍時に担当した授業「まちづくり」が平成16年度特色GPIに選定され、授業からサークルやNPOを多数立ち上げて、高齢化した富士見台団地に学生が中心となって4店舗を経営(至現在)、音楽祭の開催、自転車共有実験等活発に活動してきた。
			学外委員	1988年5月～1997年3月 くにたち地域国際交流会会長 1988年3月～1990年7月 国立市公民館運営審議会委員 1989年4月～2002年3月 (財)くにたち文化・スポーツ振興財団評議員 2003年4月～2008年3月 NPO法人くにたち人間環境キーステーション理事 2005年4月～2007年3月 国立市社会教育委員			
国際日本学部	旦敬介	ラテンアメリカ文学、アフロ・ラテンアメリカ文化	活動	東京都中野区	ゼミナールでの活動	2014年度	ラテンアメリカ諸国の芸術文化や生活文化を中野駅周辺住民に紹介した。とくに音楽・美術と食文化を紹介し、料理や飲料と共に提供した。将来的には、同地区在住外国人との交流イベントに発展させる可能性を検討している。
			学外委員				
国際日本学部	鈴木賢志	比較制度論、社会心理学。主に日本と北欧諸国の比較	活動	地域は特定できません。	ゼミ	2012年～現在	スウェーデン社会研究所において毎月開催される「スウェーデン研究講座」の1つとして、毎年2月にゼミ生の卒業研究を発表している。聴衆は、スウェーデン社会研究所の会員および一般の人々で、本年は90名程度が参加した。
				東京都	ゼミ	2010年～現在	ポットシルカ市内にあるトンバ高校で毎年開催される交流イベント「Japandagen」(日本の日)にゲストとして毎年参加し、日本の文化・社会に関するプレゼンテーションや、同校の高校生たちとの交流会を実施している。なお同校から毎年4月に派遣される日本研修に参加し、スウェーデン高校生の都内散策のサポートも行っている。
			学外委員	2008年～ European Institute of Japanese Studies 運営委員			
国際日本学部	宮本大人	漫画・アニメの歴史的研究	活動	福岡県北九州市	教員個人	2007年～継続中	前任校(北九州市立大学)では基本コンセプトの検討に参加するとともに、設立準備段階のイベントの企画・実施などに学生ボランティアグループとともに参加。 現在は教員個人で施設の運営全般へのアドバイス、イベントの司会等。
			学外委員	2011年～2013年 川崎市市民ミュージアム資料等収集委員会委員 2011年～継続 豊島区文学・マンガ資料等選定委員会委員 2007年(仮称)北九州市漫画ミュージアム基本コンセプト検討委員 2012年～継続 北九州市漫画ミュージアム研究アドバイザー			

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
国際日本学部	岸磨貴子	教育工学	活動	中国 広州市	研究グループによる調査、実践	2012年～	華南師範大学と連携し、中国広州市の小学校を対象に思考力育成のためのカリキュラム開発の共同研究を実施している。本研究チームは、日本国内において「思考力・表現力」を重視したカリキュラム開発に取り組んできた。近年、中国でも同様に「思考力・表現力」に焦点を当てた教育が実践されるようになり、日本の教育研究および実践の知見を中国においてどう活用できるかについて、華南師範大学と実践研究を行っている。具体的には、広州市の小学校教員に対して研修を実施し、思考力育成のための授業実践を支援している。この実践研究をもとにカリキュラムを開発している。
				インド ビハール州 ブッダガヤ NPO 法人Niranjana Public Welfare Trustと連携	研究グループで実践	2011年～	NPO法人Niranjana Public Welfare Trustと連携し、ブッダガヤの学校の教育支援を2011年から3年間継続的に支援している。具体的には、年に1度現地で教員研修を実施したり、教師をめざす日本人学生による教材開発を実施している。
				大阪府高槻市 関 西大学初等部	教員個人で調査	2010年～	関西大学初等部の異文化理解教育を支援している。具体的には、関大初等部の児童がインドの小学校とインターネットを通して交流し、共にグローバルイシューについて学び、問題解決に向けた具体的な活動を起こすことを支援している。
				(1)神奈川県川崎市 2013年～ 教員個人で調査 川崎市平小学校は、情報教育のカリキュラム開発の研究を学校単位で行っており、この取り組みに対して、月1回の授業研究に参加し、情報提供や授業講評、研修等を行なっている。 (2)フィリピン ミンダナオ島 バトバト村 2013年～ 授業科目「国際日本学実践科目」で連携 フィリピンで孤児院を運営しているNGO法人House of Joyの活動支援をしている。具体的には、国際協力をめざす学生のフィールドワークを引率し、House of Joyの紹介ビデオ制作をしたり、授業においてNGO法人House of Joyの代表との交流を設けたりして、日本人学生がICTを活用してhouse of joyと協働できるような支援を行っている。 (3)ヨルダン アンマン市 国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)や現地NGO/NPO法人(たとえば、NPO法人Bright Future, Orphan Center, Syrian Woman Associationなど)との連携 教員個人で実践・調査 2014年～ ヨルダンのシリア難民の支援のため、UNRWAや現地NGO/NPOを連携し、共同プロジェクトを形成した。日本人学生と現地NGO/NPOをインターネットでつなぎ、情報情報、意見交換、議論するなどの活動を行っている。 (4)大阪府高槻市 NPO法人学習創造フォーラムとの連携 教員個人で実践・調査 2012年～ 高槻市を中心に初等・中等教育の異文化理解教育を支援している。具体的には、学校に出向いて講演をしたり、ワークショップを実施したりしている。 (5)北海道 枝幸市 山臼小学校 教員個人で実践・調査 2014年の授業研究の講師 枝幸市山臼小学校において、授業におけるICT活用に関する教員研修を実施した。 (6)セネガル ダカール アフリカ経営高等学院と連携 授業科目「国際日本学実践科目」で連携 2014年9月～2015年2月 セネガルのアフリカ経営高等学院で日本語を学ぶ大学生4名らと明治大学にて異文化間交流の実践した。そのための事前学習として、ICTを介して異文化間交流を行った。 (7)東京都 リクルートキャリア みらい就職研究所との連携 教員個人で調査 2014年～ キャリアワークショップの共同開発を行っている。 (8)国内のNGO/NPOとの連携 「国際協力人材育成プログラム」の一環として 2013年～ シリア難民の支援のネットワーク構築のためのワークショップの企画、準備、実施、評価。 (9)セネガルおよびウズベキスタンの日本語学習者への教材提供 授業科目「ICTベーシックI」の作品を活用した社会貢献 2013年～ セネガルのアフリカ経営学院およびウズベキスタンの世界言語大学と国際交流基金の日本語学習者向けに、映像や日本文化紹介のパンフレットなど教材を提供している。			
2012年～ 日本教育工学会 国際交流委員 2012年～ 日本教育メディア学会 編集委員 2013年～ 日本教育工学会 研究会委員 2014年4月～ 日本質的心理学学会会務委員 2014年4月～ 財団法人パナソニック財団専門委員 2014年4月～2016年3月 中野区産業振興審議会委員 2014年4月～ 日本教育工学協会(JAET)理事	学外 委員						

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
総合数理	菊池浩明	ネットワークセキュリティ	活動	東京都中野区	教員個人で参加	年に数回の審議会を含め、必要に応じて部会などに参加	個人情報保護審議会委員として保護対策が適切に行なわれているかを、外部有識者として助言している。
			学外委員	2014年～ 中野区個人情報保護審議会委員 2014年～ 内閣官房IT総合戦略室、パーソナルデータに関する検討会技術検討ワーキンググループ構成員 2014年＝ 一般財団法人ITSサービス高度化機構 ETCセキュリティ検討委員会委員、幹事長			
大学院 文学研究科	井上和人		活動				
			学外委員	2010年～現在(2014年) 史跡などにおける歴史的建造物の復元検討委員会(文化庁) 委員 2012年～現在(2014年) 日本/ユネスコパートナーシップ事業外部評価委員会(奈良市教育委員会) 委員			
法科大学院	中山幸二	民事法学	活動	神奈川県相模原市			地域のまちづくり。消費者保護対策への助言。
			学外委員	2000年～現在 相模原市消費生活審議会委員 1999年～2003年 平塚市公文書公開審査会委員及び個人情報保護審議会委員			
法科大学院	清野幾久子	憲法	活動				
			学外委員	1993年7月～1994年3月 北海道地方分権研究懇話会(知事諮問機関)委員 1994年7月～1996年3月 北海道個人情報保護審査会委員 1995年1月～1996年3月 札幌市公文書公開審査会委員 1996年1月～1998年3月 北海道科学技術審議会委員 1997年4月～2001年3月、2002年4月～現在に至る 八千代市公文書公開審査会委員(2006年7月より副会長) 1998年3月～現在に至る 八千代市個人情報保護制度懇話会委員 1998年7月～2002年3月 八千代市特別土地保有税審査会委員 1999年4月～2001年3月、2002年4月～現在に至る 八千代市個人情報保護審査会委員(2005年10月より副会長) 2001年7月～2010年7月まで 神奈川県消費者被害救済委員会委員 2008.10.5より会長代行 2002年7月～現在に至る 横浜市個人情報保護制度審議会委員 2003年3月～2007年7月 戸田市個人情報保護運営審議会委員 2003年3月～2007年7月 戸田市情報公開運営審議会委員 2006年1月～現在に至る 小田原市行政手続保護審議会委員 2006年12月～2007年7月 総務省「信書便事業分野における個人情報保護に関する研究会」構成員 2007年7月～2008年12月 総務省「郵便事業分野における個人情報保護に関する研究会」構成員 2009年1月～現在に至る 川崎市情報公開運営審議会委員 2011年4月～現在に至る 総務省 情報通信行政・郵政行政審議会委員 (2013年7月～郵政行政分科会長代理) 2012年7月～現在に至る 小田原市納税審議会委員			
専門職大学院 ガバナンス 研究科	山下茂	地方自治学	活動	全国共通の地域課題に取り組む全国組織	構想策定、調査研究、人材開発	平成16～25年	自治体が設立した各種全国組織における、基本的な構想策定、調査研究、人材育成などに委員等として参画。
			学外委員	1. 平成17～18年・地方6団体(知事会・市長会・町村会・3議長会)の新地方分権構想検討委員会・委員 2. 平成19～25年・(財)地域活性化センター・全国地域リーダー養成塾・主任講師 3. 平成16～25年・(財)自治体国際化協会(CLAIR)・比較地方自治研究会・委員 その他			

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
専門職大学院 ガバナンス 研究科	笠京子	政治学 行政学	活動				
			学外 委員	2014年～ 中野区外部評価委員会委員長			
専門職大学院 ガバナンス 研究科	長畑誠	政治学 社会学 地域研究	活動	神奈川県横浜市	教員個人による調査及び研修実施、マレーシア・ラザックスクールとの連携プログラムによるフィールドワーク	2011年～	JICA横浜による研修・セミナーの講師 横浜NGO連絡会による研修講師 一般社団法人あいあいネットによる研修講師 ラザックスクールとの協働プログラムの受入(横浜市民活動支援センター)
				神奈川県川崎市 一般社団法人あい あいネットとの連携	教員個人として参加、ゼミ学生 の受入	2011年～	団体運営への参加、研修の企画と実施への協力、海外との協力・交流活動への参加
				千葉県いすみ市 NPO法人いすみラ イフスタイル研究 所との連携	ゼミのフィールドワーク先とし て	2013年～	ゼミのフィールドワーク
				東京都新宿区 新 宿NPO協働推進セ ンター			
			学外 委員	2015年～ 府中市 生涯学習審議会 委員 2014年～ 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金振興事業アドバイザー			
専門職大学院 会計専門職 研究科	吉村孝司	企業の遺伝子型 経営と企業変革 に関する研究	活動	東京都町田市 日 本聾話学校との連 携	研究科学生(大学院生)と共 同による実施	2013年～	日本聾話学校中学部2年生の生徒を対象とした経営学および会計学に関する社会教室の実施(所属研究科 大学院生との共同による教材開発と授業の実施)。
				東京都千代田区 リバティールアカデ ミー講座の一環と しての経営学講座	教員個人として実施	2009年～2013年	本学リバティールアカデミー講座の一環としての経営学講座の実施
				東京都立川市のN PO法人エンジェ ル・サポートとの連 携	研究科学生(大学院生)と共 同による実施	2013年～	NPO法人エンジェル・サポートとの連携による児童養護施設の高校生に対する社会講座の実施
				東京都千代田区	所属研究科学生(大学院生) と共同による実施	2013年～	所属研究科としての全国の小学生を対象とした夏休み期間における社会教室の実施
			学外 委員	1996年～1998年 新潟県教育委員会「ウーマンカレッジ(柏崎)」実行委員 1996年～1998年 新潟県生涯学習審議会委員 2000年～2002年 柏崎地域広域行政圏計画審議会委員 2003年～ 総務省行政懇談会委員 2009年～ 国土交通省企画競争有識者委員会委員			
専門職大学院 会計専門職 研究科	池上健	社会的弱者と租 税法	活動	東京都立川市	教員個人及び学生有志によ る参画	2013年～	立川市を本拠とするNPO法人「エンジェルサポートセンター」は、主に多摩地区の児童養護施設等に在籍す る高校生等の自立を支援する団体である。 この団体は、毎年、児童養護施設を「巣立つ」高校生を対象とした一連のセミナーを開催して、こうした子ど も達が社会で自立して生活できるような知識等を身に付けるべく指導を行っているところ、当該研修会に会計 専門職研究科在籍の学生有志を指導して参加し、学生を講師として、大学で学ぶことの意味やお金の使い方 の重要性についての研修を実施しているものである。
			学外 委員				

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
研究・知財戦略機構	小野昭	考古学	活動	長野県長和町	教員個人で調査、研究室や研究グループで調査	10年間毎年実施している	長和町ふるさと祭り、学校への講義などの支援、黒曜石の分布調査及び発掘調査への支援。明治大学・信州大学連携協定に基づく第1回講演会『信州の黒曜石研究のいま』で講演「信州の黒曜石研究と世界の黒曜石」
			学外委員	2012年～現在 長野県文化財審議会 2003年～現在 新潟県長岡市馬高三十稲場遺跡整備委員会			
研究・知財戦略機構	松本良		活動	鳥取県鳥取市			鳥取県、鳥取大学による新研究科(ハイドレート科学コース)の設立に協力
			学外委員				
研究・知財戦略機構	柳本裕		活動	鳥取県および鳥取大学	研究・知財戦略機構、ガスハイドレート研究所として協力	2015年度～2020年度	まずメタンハイドレート科学コースを立ち上げることに協力、設置後は兼任教授を派遣するなど授業や研究をサポートする予定
				新潟県上越市	研究・知財戦略機構、ガスハイドレート研究所として協力	すでに不定期で実施中	地元の市や商工会議所の依頼で日本海の表層メタンハイドレートについて講演を行っている。
			学外委員				
研究・知財戦略機構	橋詰潤	考古学	活動	長野県小県郡長和町	個人	2010年～	国指定史跡星叢峠黒曜石原産地遺跡の整備に関わる調査について、調査員として意見を述べるとともに、実際の調査に協力している。
				長野県の黒曜石原産地関連遺跡保有市町村(岡谷市、諏訪市、下諏訪町、佐久穂町、茅野市、長和町、長野県教育委員会、長野県埋蔵文化財センターが参加している)	個人	2010年～	信州黒曜石フォーラム実行委員会の委員および、事務局担当として、長野県内の黒曜石原産地関連遺跡保有市町村が共同して行う、シンポジウム「信州黒曜石フォーラム」を毎年実行してきた。
			学外委員				
国際連携機構	ソラ陽子	国際関係、国際政治経済学	活動	大阪府東大阪市	模擬国連・総合演習系科目において、フィールドスタディとして、模擬国連大会に参加	2014年度～毎年6月末の3日間	英語で開催される国内の模擬国連大会Japan Model United Nations(JUEMUN)への参加を、昨年度に引き続き実施する。国内外から300名の大学生が集まり、国連会議のシミュレーションを行うという演習をとおり、外交・交渉・パブリックスピーチなどについて学び、国際交流を行うことを目的とする。
				マタニティハラスメント対策ネットワーク(NPO法人申請中)との連携	教員個人で調査	通年(不定期)	妊娠、出産にまつわる嫌がらせ、差別、解雇といったいわゆるマタニティハラスメントを、社会からなくすための活動について研究中。
			学外委員	2014年～ JUEMUN模擬国連のアドバイザー就任			
農場	佐倉朗夫	野菜園芸学、有機農業	活動				
			学外委員	2015年1月～2016年12月 農地中間管理事業の評価委員(公益社団法人・神奈川県農業公社)			

2014年度地域連携活動等調査

明治大学社会連携事務室

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
明治高等学校	北村純		活動	宮城県女川市	少年サッカーチーム対象サッカー大会及び交流会の実施	2012年度～2016年度	1 少年サッカーチーム対象サッカー大会開催 2 炊き出し(2012年度豚汁、2013年度～2014年度汁粉) 3 交流会実施(2012年度仮設住宅近辺での炊き出しとベーゴマコーナー設置、2013年度大会会場での炊き出しとベーゴマ配布、クイズ大会実施、2014年度大会会場での炊き出しとクイズ大会実施、牛乳パック竹とんぼ製作体験開催) 4 女川町への寄付金募集(2013年度・2014年度) 5 参加生徒に対する現地視察体験、被災者体験講話会実施
			学外委員				
明治高等学校	小岩孝一		活動	東京都調布市	スポーツ教室(卓球)を開催	2004年～2015年	斎藤清(本学OB:全日本卓球最多勝)による継続講習を毎月1回程度の計画で実施している。また、年2回は広域の地域に呼びかけて実施している。
			学外委員	2011年～ 公益財団法人日本卓球協会 競技者育成委員会委員長			
明治中学校	坂口泰通	教室内での新聞活用	活動	東京都		2005年	日本プレスセンター内での普及活動および全国高等学校NIE研究会を運営
			学外委員	東京都NIE推進協議会役員 全国高等学校NIE研究会会長			
明治中学校	鈴木正人		活動	東京都調布市	吹奏楽班	2000年～ 5年間毎年実施	校内のホールにて、住民を招待し、又、他校の吹奏楽部をゲストに迎えてのジョイントコンサート
			学外委員				
明治中学校	山中禎一郎		活動				
			学外委員	2012年～2014年 平成26年度全国高等学校総合体育大会東京都実行委員会競技専門委員会委員			
明治中学校	村松教子		活動	東京都三鷹市		2006～2011年	ESSを中心に三鷹国際交流協会を通じて三鷹市在住の英語好きの方々と月1回の交流及び、年1回の国際フェスティバルに出店。※現在も担当教員を替えて事業継続中。
			活動	東京都調布市		不定期(年1～2回)	観光協会主催の各種イベントに応援団が参加
			学外委員				